

令和7年度 総社市つどいの広場事業（山手会場）業務委託 事業（案）

1. 子育て親子の交流と場の提供と交流の促進

山手保健センターつどいのひろば

スタッフの人数

保育士4名 保健師1名 助産師2名 社会福祉士1名 小学校教諭1名

①つどいの広場 ちびっこひろばの開催

開設日数 月曜日～金曜日の週5日 開設時間 9:30～16:00

年間開所予定日数 226日 月平均 18.8日

2. 子育てに関する相談、援助の実施

保健師相談日 1年 100日

助産師相談日 1年 50日

にこにこ訪問 スマイル訪問 託児支援

3. 子育て及び子育て支援に関する講習会の実施

①赤ちゃんタイムの開催（毎月第3木曜日）

②プレママタイムの開催（毎月第2火曜日）

③親子体操（年 4回）

④性教育講座（年 4回）

⑤ママ先生による講習会（年 8回） エンパワメント事業

⑥食育プログラム（年 12回） 毎月ポスターの掲示

⑦親育ち講座

・赤ちゃんサロン（年 2回）・子育て座談会（年 10回）

・親育ち応援学習プログラム（年 1回）・子育て講習会（年 6回）

・ノーバディーイズパーフェクトプログラム（NP）（全6回）

・プレ幼稚園（全4回）

⑧市との連携

・市栄養士による栄養指導内容についての助言指導（随時）講座（1回）食育会議（2回）

・市の保健師に気になる子について相談（随時）カンガルー広場（月1回）つどいらっこオープン（2回）

・チュッピーこどもまつり ・幼稚園・保育園説明会（1回）

4. 地域子育て力を高める取り組み

①外あそびの日の開催（毎月2～3回不定期）

（地域の主要公園への出張ひろば）

②愛育委員会との連携（赤ちゃんタイムにて）

③栄養委員会との協働（年 2回）

④山手支援センターとの協働（年 3回）

⑤親子クラブとの連携 運営のための相談（たんぽぽ・キリン・ライオン・わかば）

行事の協働（たんぽぽクラブ）入会用紙の設置

⑥お話ボランティア（年12回） 年間参加組数

⑦地域施設との協働 ・歯科衛生士（山手グリーン歯科）さんによる歯のお話（1回）

・お魚屋さん（平商店）がやってくる

・地域づくり協議会（健康福祉フェア）出張ひろばとして参加

⑧祖父母利用の促進

5. 特別支援対応加算事業

すくすくほっと相談（毎週月・木曜日） 年間開催日数

PEC（毎月第1木曜日） 5月～3月 10回/年

発達支援研修（年 1回 広場研修） プチペアトレ（全3回×2回）

親子教室研修会 親子教室 zoom 研修参加 見学

6. 利用者のエンパワメント

- ・読み聞かせ
- ・広場内図書（雪舟文庫）のママボラ管理
- ・ママ先生による講習会
コサージュ、絵本の読み聞かせ、ママコンサート、手作りおもちゃ、工作 ダンス等

7. 子育て支援団体等との連携・協働事業

- ・なかよし広場っこ・ぴよっこ・チュッピーひろばとの連携
- ・県大子育てカレッジ実行委員会参加 ・岡山子育てネットワーク
- ・おかやま地域子育て支援拠点ネットワーク ・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
- ・愛育委員会 ・栄養委員会 ・山手福祉センター ・山手ふれあいセンター
- ・地域子育てボランティア育成(ちびボラの育成)
- ・山手健康福祉フェア参加 出張ひろば

8. 研修会への積極的な参加

- ・子育てひろば全国連絡協議会 全国大会
- ・子育てひろば全国連絡協議会 初任者研修会（オンライン）

9. 学生の受け入れ

- ・看護学生・助産師学生の受け入れ

今後の方針

特別支援対応のプチペアトレや、ママ発信の事業の充実と、ちびボラの育成に力を入れ、伴奏型支援と循環型支援を行っていききたい。

保護者の変容によるニーズの変化について行けるよう、リサーチしながら、『今時の育児』への関心とアンテナを巡らせながら、支援の方向性を検討していきたい。

今後も引き続き、育休取得の父親支援の充実を図る。